

喜びのタネまき新聞

読む人の幸せを心に願って作る



写真・市谷 健「生きがい、感じちゃうな」

赤トンボのブローチ

手のひらほどの小さな封筒に「前任の中村さんへ 会えた時でかまいませんので渡してください」。開くと「わたしが作りました」とメモがあり、赤いモールとビーズのちいさな赤トンボのブローチが出てきました。送り主は、福岡市東区のお客さま江上圭一さんご夫妻。受け持ちが替わったお客さま係の中村朋美さんへの手紙です。

——中村さんへ(返事はいりませんよ)。長い間ありがとうございました。なかなかお会いできなかったけれど、暑い時、寒い時、また大雨の時でも、いつも笑顔でいやされていました。私が残すメモに「うれしいんですよ」と言ってくださいました。その言葉をそのまま返しします。ほんとうにありがとうございます。会うことができなくなりますが、事務所の電話の向こうにあなたがいらっしやることを心においておきます。これからも身体を大切に笑顔を分けてくださいな——。

五年間のおつきあいだったそうです。ダスキンの交換を介してかよい合った気持ちを、江上さんのかわいい赤トンボが物語ってくれているようです。「あんまり嬉しくて。見てください」とお店から送られてきた赤トンボです。



株式会社ダスキン社長
伊東 美幸

第2回ダスキン大掃除川柳コンテスト 入賞作品発表!!

昨年の10月1日から11月22日にかけて「ダスキン大掃除川柳コンテスト」の作品を募集しました。第2回の今回は前年をはるかに上回る20182作品をご応募いただきました。

応募作品には、大晦日になってやっと大掃除に取り掛かる様子や懐かしいものを見つけて、掃除の手が止まってしまう様子、家族全員での大掃除の様子を詠ったものが多く見られました。さらに今年、話題になった「王子」「ピリー」「メタボ」を使用したもの、「地球の大掃除」という表現が多かったのも、今年の応募作品の特長と言えます。

大賞

一畳の
重さを知った
大掃除

愛知県 奴だこ

目のつけどころがとても新鮮で大賞に選びました。たかが一畳、されど一畳：狭い我が家も大掃除すると意外に広がったなど、読み手がいろいろと味わい、共感できる点も良かったです。

初参加
はりきる孫に
手がかり

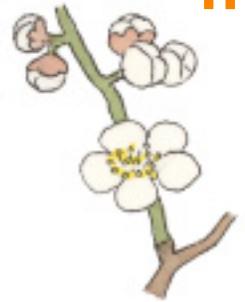
兵庫県 明広

かわいいお孫さんの様子が伝わってくる一句です。3世代そろつての大掃除でしょうか。にぎやかな年末の風景も感じられます。

くじ引きで
パバ大当たり
換気扇

埼玉県 ふうたん

誰がどこの掃除を担当するのかを楽しくくじで決めるのもいいですね。換気扇は「大当たり」の場所、という表現がポイントの一句です。



優秀賞

古い家
古い二人で 大掃除

山梨県 ずばらくん

大掃除
母のエプロン 似合う父

栃木県 あじさい恵子

北風に
背中押されて ガラス拭き

東京都 ムラビヨン

よろい脱ぎ
深呼吸する 換気扇

神奈川県 中年やまめ

父さんが
圏外へ行く 大掃除

岩手県 千田十菊

大掃除
まぜるな危険 嫁姑

石川県 嫁の目

びかびかに
磨いた窓に うつる四季

長崎県 びっぴ

ガラス窓
親子で拭いて にらめっこ

大分県 ぼんちー

ほんのりと
ふいた畳が 香りだす

沖縄県 トンガリ

見上げれば
空の上にも ほうき雲

東京都 ものぐさ



※川柳、雅号はすべて応募者の表記に準じております。
※作品の著作権はすべて株式会社ダスキンに帰属しております。無断での転載、使用はご遠慮ください。

入選

お宝か 家族集まり 鑑定団
山形県 ささらあら

「真似してね」娘と向き合い 窓をくじ
長崎県 鬼ママ

家中の タイムカプセル 掘り返し
東京都 風知草

「またいつか」世間はそれを「ゴミ」と呼ぶ
北海道 剱那

大掃除 たまに化石が 出る我が家
北海道 楽天家

エンジンが かかった頃に 日が暮れる
東京都 ちゅうりっぶ

大掃除 やる気はあるのよ 一年中
千葉県 ごすまにあ

思い出と「ゴミ」の狭間で 捨てられず
埼玉県 まろり

日々たまる「ゴミ」ストレス 払いのけ
福島県 早起きママさん

怒ってる 掃除終わると 笑ってる
北海道 マイ

いつもなら 邪魔な旦那が 主人公
兵庫県 手抜き主婦

ふたり分 汚れが嬉しい 独りより
東京都 来年結婚予定太

大掃除 メタボの父の 荒い息
宮崎県 高千穂

窓拭いて 広い世間と 空が見え
岐阜県 あいうえ雄

拭き終えて 家族の笑顔 映る窓
大阪府 左古善

「丁寧」が「遅い」と妻に 怒られる
北海道 たけぞう

洗剤を 褒めて掃除の 腕褒めず
静岡県 さくらつきこ

大掃除 終りて風呂に ゆず香る
千葉県 山ゆり

大掃除 意志の強さを 試される
栃木県 焼きみかん

大掃除 父の昔の 恋見つけ
大阪府 おちよば犬

里帰りのテヘランの動物園でピース！
愛知県清須市 モスレミ光枝
(主人はイラン人)



YOROZANE
FASHION
GRAND PRIX

露出度6000万デビュー！

イイ感じのあなた、
写真を送ってください。

マイファッションコン募集。

流石のわか舞子はその次女(二句)
福島市 山田千恵子



どこかで春が♪
岡山県倉敷市 江草幸子

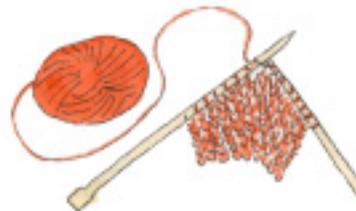
「出してみたら?」と友人や家族に勧められた我ながらうれしい写真、どこかに眠っていませんか? 本紙に発表して、600万人の読者にお披露目してください。ステキなわたしやかわいいペットが撮れたら送ってね。故郷のおばあちゃんも喜んでくれるかも。お待ちしております! (詳細は7ページ)

おやつ時間

簡単、美味しい楽ラクレシピ



お料理研究家 こいけりえ



[やすみりえ氏総評]

今回2回目を迎え、投稿が大幅に増えたことや昨年の入選句を参考くださったことでいっそうレベルがアップし、大変うれしく思います。

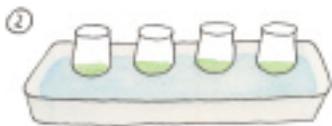
作品は家族の気持ちや詠んだり、換気扇・モップ・曇干しなど明確な言葉を取り入れたりと大掃除の風景が目立つが、より具体的な句が多く、審査する私たちも楽しかったです。川柳とは日常と深く結びついたもの。それが暮らしに不可欠な「大掃除」というテーマに上手く重なり、いい表現が生まれているのでしょう。来年も素敵な句に出会えることを期待しています。

今日は楽しいひな祭り♪ 「三色ミルクのひなゼリー」

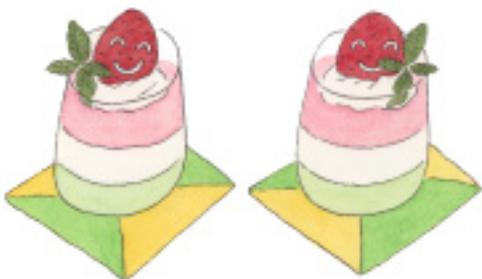
ひな祭りにはちょっと嬉しい簡単ゼリー。ひし餅をイメージした赤、白、緑の三段重ねで、いちごの顔をトッピングすれば、あら、カワイイ! お雛様の出来上がり。飾って可愛い、食べて美味しい、一石二鳥のおやつです。お子様と一緒に作って、楽しいひな祭りのひとときを。

◎ゼリーを作る

粉ゼラチン10gは水大さじ6の中に入れて溶かしておく。鍋に牛乳600ccとグラニュー糖120gを入れて、混ぜながら沸騰する直前まで温める。火からおろして、ふやかした粉ゼラチンを加えて、よく混ぜて溶かす。網でこしてあら熱をとる。あら熱がとれたらバナラエッセンス2滴を入れ混ぜる。混ぜたミルクを200ccずつ3つに分けて、小さいボウルに入れる。一つはそのまま、残りの二つには、市販されている赤と緑のお菓子用食用色素をそれぞれ入れて色をつける。※食用色素は付属品の専用の小さじを使用し、分量は、その半分くらいを使用する。ほんのり色をつけるくらいでOKなので、くれぐれも入れすぎには注意すること。また、食用色素は混ぜにくいので、直接ボウルに入れずに小さな容器に、ボウルのミルクを入れ、溶かしてから入れること。



食用色素はほんの少しに!
バナラエッセンスは2滴



赤い顔が
すてきな

◎ゼリーを固める
色付けしたミルクはグラスなどの透明な容器に分けて入れる。約50ccくらいずつ、おたまなどを使い、グラスを並べて同じ高さにそろえるように入れる。水を入れたバットに氷を入れて、そのまま冷蔵庫に入れて固める。緑色を入れたら20分ほど冷やして固め、次にミルク色を入れ、さらに20分冷やし固め、最後にピンク色を入れて20分固める。※必ず先に入れたゼリーが固まっているか確認してから次のゼリーを入れること。

◎デコペン

市販のデコペンを使って、へたを取ったいちごに顔をかき、デコペンはすぐに固まるので素早く使用する。(生クリームを固めてもOK)生クリーム100ccに砂糖大さじ1を入れて混ぜ合わせ、八分立てにホイップする。固まったゼリーの上に生クリームを絞って、その上いちごをのせる。(生クリームをトッピングするのは、ゼリーを食べる直前がベスト)ミントの葉を添えるといちごの赤が引き立ち、見た目もより一層きれいです。

連載中の葉っぱの画家・群馬直美さんのアトリエは東京・立川市の石田倉庫。ベニヤで仕切られた1室です。倉庫には19人もの芸術家や職人が集まっていますが、ふだん目に触れることがないアトリエを、年に1度開放。熱気あふれるお祭りに、2日で2千人以上が訪れます。

倉庫のアートやモノづくりを
みんなに見てもらおうよ

石田倉庫で創作に励むアーティストは19人。現代美術家、版画家、葉っぱの画家、鍛冶屋に家具屋に陶芸家、お店も作る美術造形家と多彩。作品や活動を周辺の人々に知ってもらおうとオープンアトリエ展を開いて4回目になります。お祭りは石田倉庫の社員さんの焼鳥屋、手品やオカリナ演奏、即興ダンス、トークショーもあり賑やか。ギャラリーや美術館では味わえないライブ感で、アートって楽しい、モノ作りって熱い!と盛り上がっていました。

「作品の即売会をしようよ、と最初は不純な動機で(笑い)みんなに声をかけたのがきっかけ。新聞などにも紹介され過去3回で延べ6千人、今回で8千人以上のイベントに。アートの発信地になるといいですね」と家具工房『木とり』の山上一郎さん。

まずは群馬直美さんのアトリエへ。たたみ一畳分のドーンと大きなケヤキの枯れ葉の絵を中心に、採集箱にディスプレイされた色とりどりの葉っぱの絵。

隣の倉庫の1室では金工作家の栗マユミさんと美術造形の伊藤卓義さんが歓談中。「アトリエ展を始めてからアーティスト同士が交流するようになり、お互いに刺激し合っています」と話す伊藤さんは、建物などを古びた味わいに見せるエイジングという技法を駆使して、ディスプレイ

観 け る ス テ キ な お 祭 り



「アイゼルを運んでるの。ひっきりなしに人が来るわ」と群馬直美さん



葉っぱの作品。虫眼鏡で見ると葉脈や模様のような点がキラキラ鮮やか



鉄は錆びることが逆に魅力。これが花ビンってステキ」と若い女の子



オ、車輪アート! インパクトのある作品は古自転車から生まれた。



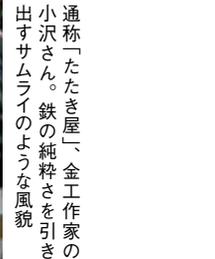
手作りの柔らかな曲線。このミルクパンで温めた牛乳はきつと特別な味



陶器の即売もあります。手頃な価格なおしゃれー!



編み物とかパッチワーク、習いたかったんだあ!



通称「たたき屋」、金工作家の小沢さん。鉄の純粋さを引き出すサムライのような風貌



ランドなどでも活躍中だとか。

現代美術の茂井健司さんは鏡の
アート。映り込みキラめく箱をとり
つけた壁面や座れる鏡のイスが素
敵。高校の美術の先生でもあり、教
え子も訪ねてきていました。

24年前からアーティスト村に
アートの祭典で市民権も

倉庫のオーナーは石田産業(井戸
のボーリング業)の石田隆一会長で
すが、自身もモノ創りが大好き。
「元軍需工場だったこの一帯は戦後、
米軍ハウスや貸し倉庫に。ベトナム
戦争後は米兵も去り、ベニヤ板で仕
切つて学生に間貸ししてた。24年前、
知人の芸大生にアトリエとして貸し
たのがロコミで広まったんですよ」現
在国際的に活躍する川俣正、村上
隆などのアーティストもこの倉庫ア
トリエの出身者。滞納した家賃を少
しずつ返し続けている芸術家もい
るとはいい話。お祭りで焼鳥屋に
変身した長男で社長の高章さんと
共に、アーティストの夢を支えてきた
良き理解者なのです。

さて人が押しかけたのは、鍛冶屋
さんが真つ赤に燃えた鉄をハンマー
でたたく創作ライブ。金工作家の高
井吉一さんは「以前は変な風体の人
という目で見られていたけど、地域
の人が挨拶してくれるようになり、
市民権を得られたのがうれしいね」
どこか近寄りがたく思っていたのに、
ちよつとノックすると「どうぞど
ぞ」と心の扉を開けてくれたアーテ
ィストたち。「この世に一つしかない
もの」を創り続ける人びとの熱気を
身近に感じて高揚した秋の日でし
た。今頃は春を待ちながら、せつせ
と創作に励んでいることでしょう。

アーティストのアトリエを

今回のアトリエ展のテーマは
「箱・はこ・ハコ」。各々のオ
ハコが魅力的だし、倉庫自
体が1つの作品だったかも



山上さんはまとも役兼お世話役兼記
録係。兼、2日間の皆を撮影する係



インスタレーションお菓子の箱の家。
中にレゴの塔が輝きワクワクする



石田高章さん。半年かけて焼鳥
屋の屋台を作成!した社長さん

石田倉庫の





再会

新潟県胎内市 伊藤千恵子



彼女と会うのは40年ぶり。待ち合わせ場所に着くと、彼女はこつちを振り向いた。懐かしさで胸が高なつて、小走りに。歩き始めると、

「お母さんに似てきたわね」

「最近、よく言われるの」

二言三言で、長い年月、連絡もなかった彼女との距離が穏やかに縮まってくいようだった。

再会のきっかけは偶然。私がある新聞に投稿した記事をたまたま読み、幼友達だと直感した彼女が、即、新聞社に手紙を送った。突然の連絡でただ驚いたが、会ってみたら彼女の柔らかな顔、フフと小さく笑うクセ、包容力のある言葉使いはあの頃と同じ。そのうえ素敵に年齢を重ねていた。

団塊の世代といわれ、多くの仲間が定年をむかえている。年賀状で〈65歳まで働くつもり〉〈事業を立ち上げるよ〉などの報告があった。

これからの歲月、どんな人生を描いていけるだろう。「似てきたわね。」と言われた母は87歳で今も現役。幸せなことである。

——お国言葉も出たりして。

はじめまして

福岡県小郡市 尾崎貴子



先日、突然見知らぬ人から私の携帯電話に一通メールが届いていました。読んでみると、何やら9月に結婚が決まり、日程を空けておいてほしいという幸せいっばいの内容でした。思わず、

「どなた？」と送ると、相手から「間違えました。すみません」とあり、「それでは、お幸せに！」と再度送ると「ありがとうございます」という返事をもらいました。

それだけのやりとりでしたが、なんだかとても温かい気持ちになり、その日は一日、私も幸せな日を過ごせました。

世の中まだまだいい人がいるんだなあと、しみじみと思った出来事でした。

——幸せ気分は伝染しますからね。

お惣菜

岡山市 平久子



私はお惣菜屋さんで働いています。近くの会社では6月になると新入社員の配属が決まるので、一人暮らしのお客さんが増えます。

夜10時、閉店間際、会社から帰る時間になると、息子くらいの年齢の新入社員たちがやってきます。「ただいま」お帰りなさい」

少しでも安く、栄養も考えてバックにいろいろつめて帰ります。

ある時、風邪をひいて薬を飲むために、何か食べたいと一人の子が店に来たので、田舎の雑炊を作ってあげました。2、3日して元気になると、「お袋の暖かさを感じました」と、飴を買ってきてくれました。一緒に渡されたメモには、

「とっても美味しかったです。岡山のお母さんありがとう。無理しないでくださいね…」と。

その子は転勤で広島へ帰りましたが、今でもメールで近況報告をしてくれるかわいい息子です。

——あつたかいなあ。

ありがとう

福岡市 新島初雄



高校、大学と共に過ごした親友の訃報に驚いた。一昨年暮れに再会し、思い出話や失敗談で元気に笑いあつたばかりだった。思えば、彼の人間味豊かな思いやりや友情には頭が下がる。

大学在学中のことだが、友人達とある場所に出かけることになった時、私が「遠慮するよ」と言うと、彼は一緒に行こうと声をかけてくれた。彼は私の「金欠病」を知っていたのか、そつと私のポケットに自分の所持金を入れてくれた。お陰で恥をかかずに済んだ。

私は酒好きだが、彼は一滴も酒をたしまなかつた。それなのに酒の席に嫌な顔ひとつせずにつき合ってくれた心優しい友だった。

人生のはかなさを痛感しつつ、彼におくる言葉は、やはり「ありがとう」である。

——速く日の思い出し……。

自分に勝つ
 自分の中で自分に勝とう。
 自分の中の自分を認め、
 本当に自分を信じたときは、
 高くはばたこう。
 自分が失われたとき……、
 広く歩こう。
 静かな想いをこらそう。
 人の言葉を善意に信じ、
 あらゆるものから善意を見だし、
 それを育て、それを喜び、
 決してさげすみをしない
 大きな自分になりたい。

鈴木清一

「ママ、ちょよちょよするゾォ～」とスキの穂



和歌山県紀の川市 小谷恵里

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。

どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先

〒163-0232 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号
 新宿支店新宿住友ビル内分室 私書箱 第47号

ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室

電話 03(5909)6703

e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

●4-5ページの石田倉庫のアトリエ展

石田倉庫アトリエのホームページ: www.hwatanabe.jp/soko.html

電話: 042-525-4403(家具工房「木とり」山上一郎さん) 〒190-0013

東京都立川市富士見町2-32-27 石田倉庫No.5)

あなたのお便りや
 写真をお寄せください



辛いけど幸せ

静岡県富士宮市 平松瑞穂

生まれて初めてのインフルエンザで2日間の高熱。体中が痛く、くらくらして起き上がれません。心配してのぞきにきた2歳の息子が、
 「大丈夫？せなくんがおんぶしてあげるよ」
 と小さな背中を見せて言ってくれました。優しさに思わずぎゅっと抱きしめました。
 その後良くなつてから、一緒に寝ていると、
 「せなくん、お母さん大好きだからね。ずっと一緒にいようね。せなくんと結婚しようね」
 と抱きついてきました。またまたうれしくて、思わず涙がじんじん。
 6年生の娘も主人と二人で食事を作ってくれたり、何度も様子を見にきてくれたり、病気はとても辛かったけど、幸せも感じてしまいました。
 ——たまには病気をしてみるもんだと40歳で感じたのでです。



パック使

静岡県富士市 平澤陸子

月1回、2泊3日のテニス練習会を大の楽しみにしている夫が帰宅した。お土産は「雛寿司って言うんだって」と渡してくれたパックです。中身は小さなおむすびが二つ。割ってみると、女の子のお節句に似合う彩り鮮やかなちらし寿司。
 以前作った松前漬の評判が良かったと言うので、先月は倍の量を作りました。それを入れたパックに入れて戻ってきたのが、この雛寿司です。
 県をまたいで何回も往復したこのパック。多分テニスのお相手をして下さる奥様の手作りなのだと思います。パックを封筒にして、季節の便りを行き交わす。ちょっとロマンチックだな、と思っています。来月のお便りは、蒔の葉の佃煮にしようかな。
 ——お顔も知らないのが奥ゆかしいことだと思います。

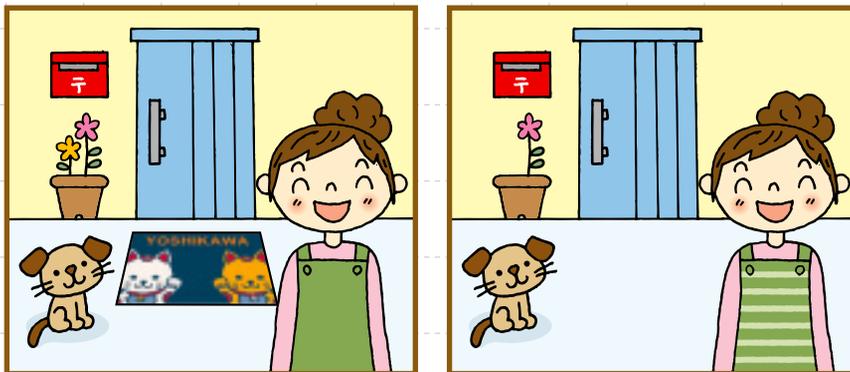


エコらんど 13

光熱費の節約はお財布のためだけでなく、環境のためにも取組みたい。例えば、家庭で使用する電気消費量の1割は待機電力によるもの。留守番電話やタイマーで予約しているビデオ以外はコンセントをプラグからこまめに抜くことができます。そんな時、スイッチ付きのコンセントが便利。名前をつけておけば、どのスイッチを入り切りすればいいのかすぐわかります。ダスキンでは生活の中で環境貢献ができるように「環境家計簿」をつけているスタッフがいます。ほんの少し意識することで環境に配慮した生活習慣が身につきます。



問題。
右の2つの絵には、
ちがうところが
3カ所あります。
さて、どこでしょう？



※460号の答えは、「心機一転」でした。

正解者の中から10名様にダスキングift「キッチンBセット」をプレゼント!下記の要領でご応募ください。

当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。(平成20年4月上旬お届け予定)

- 官製ハガキに①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥性別⑦電話番号をご記入の上、下記あて先までお送りください。
- 締め切り 平成20年3月21日(金)当日消印有効 ●ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。
- あて先 〒163-0232 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル32階(私書箱47号)
(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係
- 応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703 ※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。
- 今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただき、プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。



足もとに飾った一枚の絵が、
訪れた人を歓迎します。

- 300種類の多彩なラインナップの中から、お好きなデザインを2つ選んでください。お名前、メッセージを入れてお届けします。
- マットの特殊パイルが砂、ドロ汚れを除去。吸着剤の働きで、小さなホコリもキャッチします。
- マットは4週間ごとにお取り替えします。お手入れいらずで、いつもベストコンディション。



ダスキン家庭用玄関マット
オーダーメイドタイプ

4週間標準レンタル料金 **1,155円** (税込) [1-1322]

- サイズ:約60×90cm ■素材:パイル/BCFナイロンゴム/合成ゴム
- 重量:約1,250g ■厚み:約10mm ■機能:吸着剤加工(SOA加工)
- 静電気防止機能(ボルター機能) 防炎機能

※写真と実際の商品の色は多少異なる場合があります。予めご了承ください。※デザインごとに表現できる文字数に制限があります。

※詳しくはお客様係までお問い合わせください。

この印刷物は、グリーン購入ネットワークのガイドラインに準じた用紙です。

株式会社 **ダスキン**

発行: 広報・広告部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集: 「喜びのタネまき新聞」編集室
〒163-0232

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル32階(私書箱47号)
TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.jp

●この新聞をお届けしているのは